

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-512515(P2005-512515A)

【公表日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2005-018

【出願番号】特願2003-527073(P2003-527073)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 P	21/02	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	13/12	

A 6 1 P	17/00
A 6 1 P	19/00
A 6 1 P	25/00
A 6 1 P	31/18
A 6 1 P	35/00
A 6 1 P	37/02
C 0 7 K	14/47
C 0 7 K	16/18
C 1 2 N	1/15
C 1 2 N	1/19
C 1 2 N	1/21
C 1 2 P	21/02
C 1 2 P	C
C 1 2 P	21/08
C 1 2 Q	1/68
G 0 1 N	33/15
G 0 1 N	Z
G 0 1 N	33/50
G 0 1 N	Z
G 0 1 N	33/53
C 1 2 N	D
C 1 2 N	5/00
A 6 1 K	A
A 6 1 K	37/02

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号：2 n (ここでnは1～127の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列の成熟型を含む、単離ポリペプチド。

【請求項2】

配列番号：2 n (ここでnは1～127の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、単離ポリペプチド。

【請求項3】

配列番号：2 n (ここでnは1～127の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列に少なくとも95%同一であるアミノ酸配列を含む、単離ポリペプチド。

【請求項4】

ポリペプチドが配列番号：2 n (ここでnは1～127の整数である)からなる群から選択されるアミノ酸配列中に1またはそれ以上の保存的置換を含むアミノ酸配列を含む、単離ポリペプチド。

【請求項5】

該ポリペプチドが天然に存在する請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項6】

請求項1に記載のポリペプチドおよび担体を含む組成物。

【請求項7】

請求項6に記載の組成物を1またはそれ以上の容器内に含むキット。

【請求項8】

ヒト疾病と関連する症候群を処置するための医薬の製造における療法剤の使用であって、疾病が請求項1に記載のポリペプチドと関連する病態から選択され、療法剤が請求項1

に記載のポリペプチドを含むものである使用。

【請求項 9】

試料中の請求項 1 に記載のポリペプチドの存在または量を測定する方法であって、
(a) 該試料を用意すること；
(b) 該試料をポリペプチドに免疫特異的に結合する抗体に導入すること；および
(c) 該ポリペプチドに結合する抗体の存在または量を測定すること、
それにより、該試料中のポリペプチドの存在または量を測定すること、
を含む方法。

【請求項 10】

第 1 の哺乳類対象中の請求項 1 に記載のポリペプチドの変化したレベルの発現と関連する疾病的存在または素因を測定する方法であって、
a) 第 1 の哺乳類対象由来の試料中のポリペプチドの発現レベルを測定すること；および
b) ステップ (a) の試料中の該ポリペプチドの発現を、該疾病を有さないかまたは素因を有さないことが知られている第 2 の哺乳類対象由来の対照試料中に存在するポリペプチドの発現と比較すること、

ここで、対照試料と比較して第 1 の対象中のポリペプチドの発現のレベルでの変化は該疾病的存在または素因を示す、
を含む方法。

【請求項 11】

請求項 1 に記載のポリペプチドに結合する物質を同定する方法であって、
(a) 該ポリペプチドを該物質に導入すること；および
(b) 該物質が該ポリペプチドに結合するか否かを測定すること、
を含む方法。

【請求項 12】

物質が細胞受容体または下流エフェクターである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

病態の処置において使用するための潜在的な治療物質を同定する方法であって、ここで病態は請求項 1 に記載のポリペプチドの異常発現または異常生理的相互作用に関連し、
(a) 請求項 1 に記載のポリペプチドを発現しつつポリペプチドに帰する性質または機能を有する細胞を用意すること；
(b) 細胞を候補物質を含む組成物と接触させること；および
(c) 物質がポリペプチドに帰する性質または機能を変化させるか否かを測定すること、
これにより、物質の存在下で観察される変化が細胞が物質の非存在下で組成物と接触されたときに観察されなければ、物質が潜在的な治療物質として同定される、
を含む方法。

【請求項 14】

請求項 1 のポリペプチドと関連する病態の活性または潜在活性のモジュレーター、または素因をスクリーニングする方法であって、
(a) 試験化合物を請求項 1 に記載のポリペプチドと関連する病態に対して増加したリスクのある被検動物に投与すること、ここで該被検動物は請求項 1 に記載のポリペプチドを組換的に発現する；
(b) 該被検動物中の該ポリペプチドの活性をステップ (a) の化合物の投与後に測定すること；および
(c) 該被検動物中の該ポリペプチドの活性を、該ポリペプチドを投与されていない対照動物中の該ポリペプチドの活性と比較すること、ここで、該対照動物と比べて該被検動物中の該ポリペプチドの活性の変化は、試験化合物が請求項 1 に記載のポリペプチドと関連する病態の活性または潜在活性のモジュレーター、または素因であることを示す、
を含む該方法。

【請求項 15】

該被検動物が試験タンパク質導入遺伝子を発現するか、または該導入遺伝子をプロモー

ターの制御下で野生型被検動物と比べて増加したレベルで発現する組換え被検動物であり、かつ該プロモーターが該導入遺伝子の天然の遺伝子プロモーターでない、請求項14に記載の方法。

【請求項16】

請求項1に記載のポリペプチドの活性を調節する方法であって、請求項1に記載のポリペプチドを発現する細胞試料を該ポリペプチドに結合する化合物にポリペプチドの活性を調節するのに十分な量で接触させることを含む方法。

【請求項17】

請求項1に記載のポリペプチドと関連する病態を処置または予防する方法であって、請求項1に記載のポリペプチドをかかる処置または予防が望まれる対象に対象の病態を処置または予防するのに十分な量で投与することを含む方法。

【請求項18】

対象がヒトである請求項17に記載の方法。

【請求項19】

哺乳類にポリペプチドを病状を改善するのに十分な量で投与することを含む方法であって、ポリペプチドは配列番号：2n（ここでnは1～127の整数である）からなる群から選択されるアミノ酸配列を含むポリペプチドに少なくとも95%同一なアミノ酸配列またはそれらの生物学的に活性なフラグメントを有するポリペプチドである、哺乳類中の病状を処置する方法。

【請求項20】

配列番号：2n-1（ここでnは1～127の整数である）からなる群から選択される核酸配列を含む、単離核酸分子。

【請求項21】

核酸分子が天然に存在する、請求項20に記載の核酸分子。

【請求項22】

核酸分子が配列番号：2n-1（ここでnは1～127の整数である）からなる群から選択される核酸配列と单一ヌクレオチドにより異なる、核酸分子。

【請求項23】

配列番号：2n（ここでnは1～127の整数である）からなる群から選択されるアミノ酸配列を有するポリペプチドの成熟型をコード化する、単離核酸分子。

【請求項24】

配列番号：2n-1（ここでnは1～127の整数である）からなる群から選択される核酸を含む、単離核酸分子。

【請求項25】

該核酸分子が厳密な条件下で配列番号：2n-1（ここでnは1～127の整数である）からなる群から選択されるヌクレオチド配列または該ヌクレオチド配列の相補体にハイブリダイズする、請求項20に記載の核酸分子。

【請求項26】

請求項20に記載の核酸分子を含むベクター。

【請求項27】

該核酸分子に作用可能に結合するプロモーターをさらに含む、請求項26に記載のベクター。

【請求項28】

請求項26に記載のベクターを含む細胞。

【請求項29】

請求項1に記載のポリペプチドに免疫特異的に結合する抗体。

【請求項30】

抗体がモノクローナル抗体である、請求項29に記載の抗体。

【請求項31】

抗体がヒト化抗体である、請求項29に記載の抗体。

【請求項 3 2】

試料中の請求項 2 0 に記載の核酸分子の存在または量を測定する方法であって、
(a) 試料を用意すること；
(b) 試料を該核酸分子に結合するプローブに導入すること；および
(c) 該核酸分子に結合する該プローブの存在または量を測定すること、
これにより、該試料中の核酸分子の存在または量を測定すること、
を含む方法。

【請求項 3 3】

核酸分子の存在または量が細胞タイプまたは組織タイプのマーカーとして用いられる、
請求項 3 2 に記載の方法。

【請求項 3 4】

細胞タイプまたは組織タイプが癌性である、請求項 3 3 に記載の方法。

【請求項 3 5】

第 1 の哺乳類対象中の請求項 2 0 に記載の核酸分子の変化したレベルの発現と関連する
疾病の存在または素因を測定する方法であって、

a) 第 1 の哺乳類対象由来の試料中の核酸の発現のレベルを測定すること；および
b) ステップ (a) の試料中の該核酸の発現のレベルを疾病を有さないかまたは素因を有
さないことが知られている第 2 の哺乳類対象由来の対照試料中に存在する核酸の発現のレ
ベルと比較すること；
ここで、対照試料比較して第 1 の対象中の核酸の発現のレベルの変化は疾病の存在または
素因を示す、
を含む方法。

【請求項 3 6】

細胞をポリペプチドの発現を導く条件下で培養することを含む方法であって、該細胞が
配列番号：2 n - 1 (ここで n は 1 ~ 1 2 7 の整数である) からなる群から選択される核
酸配列を含む単離核酸分子を含むベクターを含む、請求項 1 に記載のポリペプチドを生成
する方法。

【請求項 3 7】

細胞が細菌細胞である請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 3 8】

細胞が昆虫細胞である請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 3 9】

細胞が酵母細胞である請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 4 0】

細胞が哺乳類細胞である請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 4 1】

細胞をポリペプチドの発現を導く条件下で培養することを含む方法であって、該細胞が
配列番号：2 n - 1 (ここで n は 1 ~ 1 2 7 の整数である) からなる群から選択される核
酸配列を含む単離核酸分子を含むベクターを含む、請求項 2 に記載のポリペプチドを生成
する方法。

【請求項 4 2】

細胞が細菌細胞である請求項 4 1 に記載の方法。

【請求項 4 3】

細胞が昆虫細胞である請求項 4 1 に記載の方法。

【請求項 4 4】

細胞が酵母細胞である請求項 4 1 に記載の方法。

【請求項 4 5】

細胞が哺乳類細胞である請求項 4 1 に記載の方法。